

重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器

琉球王国時代の王城であった首里城。その首里城の京の内地区の倉庫跡(SK01)から大量の陶磁器や金属製品がまとまって出土しました。この陶磁器類は、概ね14世紀中頃～15世紀中葉の中国産や東南アジア・日本産で、世界的に希少な資料を含み、かつ中継貿易で栄えた琉球王国の繁栄を示す貴重な資料として学術的価値が特に高いことから国指定の重要文化財に指定されました。



京の内とは

創世神アマミクが最後に降り立った場所であり、琉球王国最高の聖域です。「京」とは霊力(セジ・シジ)を意味し、この場所で祭祀を司る神女たちが王国の未来い繁栄を祈りました。



重要文化財 首里城京の内跡出土陶磁器指定一覧

(指定日 平成12(2000)年6月27日)

重要文化財 考古資料の部

指定名称及び員数：沖縄県首里城京の内跡出土陶磁器 518点

- 附一、金属製品 一括
- 附一、ガラス玉 一括

重要文化財 陶磁器内訳

- ・青磁 289点 ・白磁 33点 ・元染付 2点
- ・明染付 58点 ・色絵 3点 ・紅軸 1点 ・瑠璃軸 2点
- ・褐軸磁器 1点 ・中国産褐軸陶器 35点 ・白軸陶器 3点
- ・タイ産褐軸陶器 55点 ・タイ産半練土器 22点
- ・ベトナム陶器 3点 ・備前 6点 ・その他(沖縄産か) 5点

● 休所日 毎週月曜日、年末年始

国民の祝日(こどもの日、文化の日を除く)、慰霊の日(6/23)

※月曜日が祝日の場合、翌火曜日も休所。その他臨時休所あり。

● 開所時間 午前9時～午後5時 (入所は午後4時30分まで)



入所無料

沖縄県立埋蔵文化財センター

〒903-0125 沖縄県中野郡西原町字上原 193-7

TEL 098-835-8751 FAX 098-835-8754

交通 沖縄自動車道西原ICより車で10分

市外線バスターミナル発 那覇バス97番線

首里駅発 那覇バス94番(但し、平日のみ運行)

「龍大附属病院前」バス停下車徒歩3分

重要文化財

首里城京の内跡

出土陶磁器保存修理事業

～陶磁器編～



元染付八宝文大倉子



沖縄県立埋蔵文化財センター

重文、首里城京の内跡出土陶磁器保存修理事業とは

沖 縄県立理蔵文化財センターでは、重要文化財を長期的に保存し、国民共有の財産として公開、活用を図るために、文化庁の補助を受け、出土品の保存修理事業を実施しています。

平成16(2004)年度から始まった本事業は、これまでに陶磁器と金属製品を合わせて200点を超える資料の修理が完了しています。

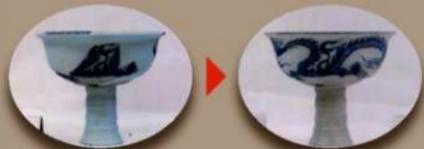
無いところを復元する

発掘調査などで得られる出土品は、完全な姿で見つかることは稀です。欠けている部分を復元する過程には、復元したいものの年代や産地を調査・研究し、膨大な資料の中から類似資料を探し出すなど多くの苦労が隠れています。無理な復元は、文化財としての価値を損なってしまう場合もあるため、その見極めが大事です。

すべてのピースが埋まらなかったものが…



文様がわからなかったものが…



作業の工程

保存修理は高度な技術が必要なため、専門の業者に作業をしていただきます。

◆修理前



修理前の状況を観察・確認し、写真を撮ります。

石膏復元から約20年経ち、劣化により外れてしまっています。

◆解体・クリーニング



接合された破片をすべて外し、接着剤や石膏などをきれいに落とします。

◆形の復元



特殊な樹脂を使って接合し、破片がない部分を補います。

出土品の中には、熱などの影響で形が歪んでしまっているものもあります。その場合は残っている部分から形作り、違和感がないように整えます。

◆彩色



彩色はアクリル顔料を使って、実物の色調に合わせて行います。文様の色味・雰囲気も彩色で表現します。

この時、実物部分と樹脂で補った部分の区別ができるように工夫します。

◆修理後



復元が完了した資料は写真を撮り、桐製の特注保管箱に収め、特別収蔵庫で保管します。

